

令和4年度 学校だより 2月号 1月31日発行

横浜市中区山元町3-152
電話 641-4857



やまもと

横浜市立山元小学校
校長 前島 潤

自分を大切にできる子 共に生きる子 山元の子

ペア活動

副校長 生武 智子

明日から、いよいよ2月。カレンダーをめくり「立春」という文字を目にすると、時の流れのはやさを感じます。2月4日は、立春です。今年は昨年よりも寒さが厳しいと感じているのは私だけではないはずです。まだまだ寒い日が続きます。

しかし、子どもたちは元気いっぱいです。1月の山元小の校庭では、ペアの学年の友達と仲良く教え合い励まし合いながら縄跳びをする姿が見られました。これは、子どもたちが代表委員会で話し合って決めた、子どもが創ったイベントです。

本校の「ペア活動」は、異学年交流の一つの形です。ペアなので相手意識をもちやすい点が特徴です。4・5・6年生は「かつての自分」を思い出して「相手のために～」と考えながら思いやりをもって行動します。1・2・3年生は「未来の自分」を想像して「相手のおかげで～」と感謝し憧れを抱きつつかわります。互いに仲を深めるには、交流をなるべく日常化し、ペアの学年や具体的な相手を常に意識できるようにすることが必要です。本校では、水曜日の朝に行う集会活動や春に実施したスポーツテスト、農園での野菜の育て方のアドバイスなど、年間を通じてペアの学年とかかわることができるように考えて計画しています。

また、保護者の皆様や地域の方々にご協力いただいている登校班も、大事な異学年交流の場です。このようなかわりを意図的に実践し、子どもたちが経験を積み重ねることによって、自分が相手の存在を支えていることや相手に自分も支えられていること、それぞれの思いを実感し、互いを認め合うことができるようになっていきます。

学校生活を通して、みんなで一つのことを創る楽しさや、仲間とかかわることのよさを味わってほしいと思っています。